



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月14日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東  
 コード番号 2708 URL http://www.kuze.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 真也  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)後藤 明彦 (TEL)03(3987)0018  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	15,969	4.1	△40	—	4	△61.0	△4	—
30年3月期第1四半期	15,341	3.6	△36	—	12	△89.3	10	△88.1

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 120百万円(△57.8%) 30年3月期第1四半期 286百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△1.11	—
30年3月期第1四半期	2.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	22,770	6,125	26.9
30年3月期	22,116	6,050	27.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 6,097百万円 30年3月期 6,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0 00	—	12 00	12 00
31年3月期	—				
31年3月期(予想)		0 00	—	12 00	12 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	6.2	10	△80.8	50	△56.6	35	△66.0	9 46
通期	68,000	8.2	330	△23.1	380	△30.4	260	△37.4	70 24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	3,882,500株	30年3月期	3,882,500株
31年3月期1Q	181,073株	30年3月期	181,073株
31年3月期1Q	3,701,427株	30年3月期1Q	3,701,427株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する安定的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績や雇用環境が改善するなか、緩やかな景気の拡大が継続しました。しかしながら、海外の政治情勢の不確実性の高まりなどにより、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場におきましても、消費者の節約志向が続く一方で、原料価格の高騰や、人手不足による人件費の上昇などが加わり依然として厳しい状況となっております。

このような状況のもと、安定的な収益基盤の構築を最優先課題とし、中期経営計画「第4次3ヶ年中期経営計画」を定め、新規得意先の開拓及び既存得意先との関係強化、提案営業を重視した営業体制の一層の整備と推進、徹底した物流業務の効率化による物流費の削減、物流システム導入をはじめとする業務の見直しによる品質向上を進め、引き続き事業ミッションに「頼れる食のパートナー」を掲げ、「お客様満足度No.1」の具体化に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は159億69百万円（前年同期比4.1%増）、営業損失は40百万円（前年同期は36百万円の営業損失）、経常利益は4百万円（前年同期比61.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4百万円（前年同期は10百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、新規得意先の開拓による営業基盤の拡大と既存得意先との取引深耕に努めるとともに付加価値の高い商品やサービスの提案を積極的に行ってまいりました。更に経営課題である物流改善については、センター運営の自社化や在庫の適正化、配送ルートの再編などにより効率化に取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は149億42百万円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1億48百万円（前年同期比38.1%増）となりました。

#### (食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。引き続きキスコブランド商品の販売強化と新商品の開発、生産性の向上による効率化を鋭意進めてまいりました。

このような結果、売上高は10億31百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益（営業利益）は48百万円（前年同期比41.0%減）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は36百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益（営業利益）は27百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億53百万円増加し、227億70百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が5億45百万円減少し、現金及び預金が9億16百万円、投資有価証券が2億6百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ5億77百万円増加し、166億44百万円となりました。これは主として長期借入金が1億43百万円減少し、支払手形及び買掛金が6億6百万円、賞与引当金が1億49百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ75百万円増加し、61億25百万円となりました。これは主として利益剰余金が48百万円、為替換算調整勘定が26百万円減少し、その他有価証券評価差額金が1億48百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の27.2%から26.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点での連結業績予想につきましては、平成30年5月14日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,020	5,937
受取手形及び売掛金	7,629	7,084
商品及び製品	2,355	2,407
原材料及び貯蔵品	227	228
その他	644	552
貸倒引当金	△36	△34
流動資産合計	15,840	16,175
固定資産		
有形固定資産	2,184	2,268
無形固定資産	439	429
投資その他の資産		
投資有価証券	2,313	2,520
その他	1,428	1,465
貸倒引当金	△89	△89
投資その他の資産合計	3,651	3,896
固定資産合計	6,276	6,594
資産合計	22,116	22,770
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,755	11,361
1年内返済予定の長期借入金	1,127	1,071
未払金	1,177	1,155
未払法人税等	64	52
賞与引当金	221	370
その他	401	420
流動負債合計	13,748	14,433
固定負債		
長期借入金	1,491	1,347
役員退職慰労引当金	189	193
退職給付に係る負債	214	218
資産除去債務	78	79
その他	344	372
固定負債合計	2,318	2,211
負債合計	16,066	16,644

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	302	302
資本剰余金	291	291
利益剰余金	4,619	4,570
自己株式	△151	△151
株主資本合計	5,061	5,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	935	1,083
繰延ヘッジ損益	3	1
為替換算調整勘定	35	8
退職給付に係る調整累計額	△12	△8
その他の包括利益累計額合計	962	1,084
非支配株主持分	26	28
純資産合計	6,050	6,125
負債純資産合計	22,116	22,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	15,341	15,969
売上原価	12,464	12,894
売上総利益	2,876	3,075
販売費及び一般管理費	2,912	3,115
営業損失(△)	△36	△40
営業外収益		
受取事務手数料	16	18
受取配当金	19	23
物流業務受託収入	9	9
その他	26	18
営業外収益合計	71	69
営業外費用		
支払利息	3	2
持分法による投資損失	1	—
物流業務受託収入原価	15	14
その他	3	7
営業外費用合計	23	24
経常利益	12	4
特別損失		
固定資産除却損	—	2
減損損失	—	0
特別損失合計	—	2
税金等調整前四半期純利益	12	2
法人税、住民税及び事業税	33	44
法人税等調整額	△31	△40
法人税等合計	1	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10	△1
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	10	△4

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10	△1
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	258	148
繰延ヘッジ損益	3	△2
為替換算調整勘定	10	△26
退職給付に係る調整額	2	3
その他の包括利益合計	275	122
四半期包括利益	286	120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	286	121
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	14,315	1,022	3	15,341
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	—	33	40
計	14,323	1,022	36	15,382
セグメント利益	107	81	25	214

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	214
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△253
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△36

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	14,934	1,031	3	15,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	—	33	41
計	14,942	1,031	36	16,010
セグメント利益	148	48	27	224

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	224
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△265
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△40

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。